

平成28年

雲南市議会3月定例会  
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成28年3月8日～9日】

平成 28 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ
1	3 月 8 日(火) 午前 9 時 30 分～	7 / 細木照子	一括	1～3
2		12 / 安井 誉	一括	3, 4
3	3 月 8 日(火) 午後 1 時 00 分～	10 / 西村雄一郎	一問一答	4, 5
4		16 / 堀江治之	一問一答	5, 6
5		18 / 深田徳夫	一問一答	6～9
6	3 月 9 日(水) 午前 9 時 30 分～	4 / 矢壁正弘	一問一答	9～11
7		14 / 山崎正幸	一問一答	11, 12
8	3 月 9 日(水) 午後 1 時 00 分～	2 / 中村辰眞	一問一答	12～14
9		13 / 細田 実	一括	14～16
10		9 / 周藤正志	一問一答	16, 17

平成28年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

平成28年3月1日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	7	細 木 照 子 ( 一 括 )	1. 災害予防の取組 みについて  2. 高齢者事故防止 について  3. 住宅改修支援事 業の周知について  4. 介護報酬の適正 化について	(1) 県と雲南市では「土砂災害特別警戒区域」の指定に努力されている。区域指定の他にも例えば、「建築許可」の際に災害による危険の可能性を伝えるなどの指導が出来ないものか。 全国的に専門的な安全指導がきちんと出来れば、防げる災害がかなりあるような気がする。上部機関と連携して効果的に災害予防へ取り組む事はできないか伺う。  (1) 高齢者がかかわる事故が増える傾向にある。早急に具体的な対策を打てないと増加が止まらないのではないか。例えば交通事故、農機具事故や除雪作業など高齢者向けの具体的な事故防止対策を繰り返し指導する必要があると考えるが所見を伺う。  (1) 介護原因のトップは「脳卒中」であり、脳卒中の危険を高める主な要因に「高血圧」があるといわれる。古い住宅の窓や壁を、断熱性や気密性の高い状態に改修することにより床の温度が高くなり、血圧が下がったという実験結果もある。これらの効果を確認した上で、高齢者の健康管理の面からも住宅改修支援事業の利用の周知や支援する考えがないか伺う。  (1) 今後介護費用の増加や保険料の引き上げが必要だとされ、保険料の支払い年齢を40歳から引き下げる検討もされている。一方介護施設では職員待遇の関係からか、高い離職率により職員不足、また虐待や犯罪の問	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 認知症などによる身元不明者の公表の仕方について	<p>題も発生している。</p> <p>「介護報酬」が余りにも厳しく抑えられていることも一因だと思うが、早急に介護報酬を現実的で適正なレベルまで上げる事が根本解決につながると思う。担当部としての見解を伺う。</p> <p>(1) 全国で認知症などにより身元不明のまま保護された方の内、情報を公開しているのは46%だと言われる。「個人情報保護」による、本人同意が得られないのが主な理由だと言われる。個人情報保護法を遵守するあまりに、現実に我が家へ帰る事の出来ない人の暮らしが二の次になっているような感じがする。雲南市としては、どのように考えているか伺う。</p>	
			6. 直売所の残り野菜の有効活用について	<p>(1) 昨年10月現在、全国的生活保護の受給者は過去最高となり、18歳未満の貧困率は16.3%と過去最悪である。一方、国内で「食べられるのに捨てられてしまう食品」が、年間500~800万トンも発生するといわれる。建設的な取り組みとして、貧困解消に少しでも役立てる事ができれば、生産農家としても嬉しいと思う。昨年11月に「全国フードバンク推進協議会」も立ち上がった。雲南市として何か前向きに指導の出来るものはないか伺う。</p>	
			7. 高齢者にも読みやすい「市報雲南」の紙面づくりについて	<p>(1) 市報雲南は「縦書き・横書き」が入り組んでおり、高齢者には落ち着いて読み難いようだ。文字の大きさや配色など高齢者に配慮して、誰もが気持ち良く読める市報を望む。所見を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			8. 「リンゴ病」 予防について	(1) リンゴ病はウイルス性の感染症で昨年の患者数は98,500人とここ10年で最も多かったと言われる。有効なワクチンや治療法がなく、予防対策が重要である。この他にも「ジカ熱」、「デング熱」、「エボラ出血熱」と国際的な病気が発生しているが、治療法が確立しておらず、予防対策が急務だといわれている。周知して先手を打ってほしいが見解を伺う。	
2	12	安 井 誉 (一 括)	1. 雲南市長の次期 改選に向かう考え について  2. 教育問題につい て	(1) 平成28年11月に雲南市長、市議会議員が任期により改選を迎える。市長の改選に向けての所感を伺う。  (2) 幸雲南塾の成果が期待される。将来を担う人材の育成について伺う。 (3) 義務教育の目的は何か。県の学力調査が公表された。雲南市の学力は県の平均を下回っている。その要因は何か伺う。社会に出たら競争だらけ。小学校はともかく中学校は、順番を公表しても良いではないだろうか。(テスト、スポーツ、文化など) (4) 義務教育で必要なのは他地域のノウハウ、優れた考え方を導入すべきと思われる。市内小中学校の教員は何人か。市内出身者の割合は。雲南市内の学校のみを多年に回っている傾向はないかを伺う。 (5) 教員本来の仕事は何か。雲南市が最も重要視しているものは何と定めているか。統一的行動は何であるか。その具体的行動について伺う。 (6) 各学校の教員は、その目標に向って努力されていると思うが、その評価方法はどこでどうされているか伺う。 (7) 教員の残業について伺う。事務的作業が多く、本来の仕事に支障が出てきてはいないだろうか。事務職員の配置数・配置の効果について伺	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 英語教育について	う。事務職員の雇用により効果が出る考え方はないか伺う。 (7) 基礎学力向上の必要性について所見を伺う。  (1) 平成 30 年度から小学校において英語が教科化される。英語教育はなぜ必要なのか。また、なぜ小学校から始まるのか。	
3	10	西村 雄一郎 (一問一答)	1. 雲南ブランド化プロジェクトについて  2. チャレンジの連鎖について  3. キャリア教育について  4. 学力、自宅学習対策について  5. 天神頭首工改修について  6. 三刀屋町下熊谷	(1) 雲南ブランド化プロジェクトの成果と現状について伺う。  (1) チャレンジの連鎖について分かりやすい説明を求める。  (1) キャリア教育とは何か分かりやすい説明を求める。 (2) 市長所信表明にある重点教科設定とキャリア教育は方向性が同じか伺う。  (1) 雲南市の生徒児童の学力が低位であること(県学力調査)、また自宅学習時間が短いことを教育委員会として、どう捉えているのか伺う。 (2) 「自分を作る楽校」を体験教育から学習支援に切り替えたらどうか伺う。  平成 25 年 3 月議会において、「天神頭首工は数年後には改修することになる」と答弁があった。その後の進捗状況について伺う。  (1) 新田川の排水機場はいつ設けられるのか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			地区の浸水対策について  7. 国道54号三刀屋拡幅事業について	(2) 邑南町のように市独自に、避難準備情報発令の水位より低い水位で避難予報を発令し、早期避難を促すことはできないか伺う。  (1) 地元からは4車線化において中央分離帯を設けないよう要望があるが、市の考えを伺う。 (2) 右折しての入店ができなくなる。店舗力強化のためのリニューアル、業態変更に市として支援できないか伺う。	
4	16	堀江治之 (一問一答)	1. 平成27年度事業の検証について  2. 法律の新規制定及び一部改正に伴	(1) 個人番号制度・マイナンバー制度について ①雲南市として呼び方を個人番号とするのかマイナンバーとするのか方針を伺う。 ②番号・ナンバーの個人通知の状況及びカードの申請・交付状況について伺う。 ③カードの申請者が少ないようであるが、今後どのような対応を行うのか伺う。 (2) プレミアム商品券(農業振興商品券・プレミアム商品券・カタログギフト)について 商品券の販売状況について伺う。また、事業効果をどのように検証、評価されているのか伺う。 (3) 高速道尾道松江線全線開通1周年について 全線開通から1年経過し、プラスとマイナス効果をどのように検証されているのか伺う。  (1) ストレスチェック検査制度について 労働安全衛生法の一部が改正され職員のストレスのチェック検査制度が	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>う対応について</p> <p>3. 人口の社会増の 取組みについて</p> <p>4. 工業用水道事業 について</p>	<p>創設され、昨年12月より対応が義務化された。市の対応方針を伺う。</p> <p>(2) 障害者差別解消法について 障害者差別解消法が制定され4月から対応が義務化されるが、不当な差別的取扱い・合理的配慮について市の対応方針を伺う。</p> <p>(1) 雲南省の総合戦略として人口の社会増の取組みがされているが、移住・定住による人口の社会増の取組みについて、現状と今後の方針について伺う。</p> <p>(1) 工業用水道を使用している企業で製品製造の減産が検討されているとの報道がされているが、実情について伺う。 (2) 工業用水道の厳しい運営下、減産が事実とすれば影響は大きく、さらに運営が厳しくなるが現状はどうか伺う。</p>	
5	18	深 田 徳 夫 (一問一答)	<p>1. 胃がんリスク検 診について</p> <p>2. 「地域スポーツ とトップスポーツ の好循環推進プロ ジェクト」事業につ いて</p>	<p>(1) 胃がん撲滅のため、胃がんリスク検診の推進及び検診の助成制度の導入を検討すべきと思うが如何か。</p> <p>(1) この事業は、継続性があるからこそ児童等の体育学習（スポーツ技術）などの向上につながる。28年度予算額では継続事業は出来ない。事業の継続を望んでいた市民や関わってきた方に対し、どのように理解を求めるのか。 (2) この事業が市単独予算ではできない理由は何か。また、事業の評価を国にどう説明されるか。 (3) 教育委員会として、この事業の新年度予算の要求状況を伺う。 (4) 市はこの事業計画や学校現場の要望等を理解した上で、どのような事業</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 文化財行政と観光事業について</p> <p>4. 「生涯活躍のまち」を目指した介護人材確保について</p>	<p>をすべきと考え査定されたか。或いは事業を不必要との判断なのか、事業を具体的に明確にされ、所見を伺う。</p> <p>(5)教育委員会は、この予算でどのような事業を考えているか。また「スポーツ計画」のありようと学校体育・スポーツ教育・地域スポーツは如何にあるべきかを伺う。併せて補正の考えはないか伺う。</p> <p>(1)加茂岩倉遺跡の銅鐸は出土 20 周年を迎える。火薬庫の移転、看板の設置、遊歩道の進捗状況と 28 年度 of 取組みについて伺う。また、出土 20 周年の情報発信の考え方と取組みは如何か。</p> <p>(2)荒神谷、西谷墳墓群などとのネットワークが全く生かされていない。神話、銅文化、鉄文化と流れる歴史文化こそ雲南市・出雲の観光のストーリーと考えるが如何か。</p> <p>(3)加茂まちづくり協議会は、高速道路の利用PRに余念がない。協議会や地元での施設整備は限界がある。観光事業として、駐車場の活用を図るため水道、電気の整備の考えを問う。</p> <p>(1)日本創造学会が高齢者の移住を促す提言を行った。提言は包括ケアシステムの制度が目指す姿と整合性に矛盾を感じる。包括ケアシステムの目指す姿を今一度伺いたい。</p> <p>(2)本市も受け入れの意思があるとアンケートに答えたと報告された。受け入れのための計画策定の進捗状況と国の支援などの把握と要請活動の現状を伺う。</p> <p>(3)人口の社会増を目指し、高齢者を組んだ「生涯活躍のまち雲南市」或いは「生涯活躍のできるまち雲南市」として宣言し、移住希望者にアピ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ールする必要があると思うが如何か。</p> <p>(4) 団塊時代を迎えた今日、空き家や公的施設の改修などによって、施設でもない・自宅でもない新たな多様な生活スタイルとして、低額でまた共同で居住ができる住宅が必要と考えるが所見を伺う。居住される方々が経験を生かして活動できるサポートセンター等の併設も必要と考えるが如何か。</p> <p>(5) 介護人材の確保対策は喫緊の課題であり、企業努力では限界と言われる。雲南市全体の課題として行政が音頭を取り対策を練るべき時と思うが所見を伺う。</p> <p>(6) 他の自治体では外国に人材を求めて研究が進んでいる。広域行政で調査研究・視察等も行い介護人材不足の解決に向かう考えはないか所見を伺う。</p>	
			5. 「子ども家庭支援センター」の充実について	<p>(1) 「子ども家庭支援センター」には 338 人の方から様々な課題や相談が寄せられ、虐待も 81 件を把握、管理していると報告されている。これらの問題解決に何が必要と考えているかを問う。また、地域の基盤づくりとしてのプラットフォームの設置が必要と思うが如何か。</p> <p>(2) 虐待のハイリスクにある環境の改善や子どもの発達・不登校・ひきこもり、就労など保護者が抱える様々なリスクには、これまで以上に把握・予防・支援を切れ目なく行う専門職員の配置やカウンセリングなどを 9 月議会に求めたが対応は如何に。</p>	
			6. コミュニティ・スクールについて	<p>(1) 全国的に普及してきたコミュニティ・スクールのこれまでの取組みと内容を伺う。併せて今後全ての学校に普及する考えか。子ども達の成長を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			7. 今後の行政姿勢 について	<p>支えていく地域と共にある仕組みが重要と思うが見解を求める。</p> <p>(2) 旧庁舎跡地周辺の整備計画が示された。この地域は木次町での文教的活動の中心的な場所である。青少年ホームを中心に雲南市教育の中心的センターとして、地域の学習センターや子ども向けのカルチャースクール教室等公営塾を立ち上げ活用すべきと提案する。</p> <p>(1) 市民や議員の提案の検討のシステムが不明確である。その検証などの公表をすべきでは。職員の意見が優先し市民提案は五里霧中となっている。今後の行政姿勢について伺う。</p>	
6	4	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 市営住宅について	<p>(1) 市営住宅家賃の収納について伺う。</p> <p>① 住宅使用料の収納率が県内 8 市の中で低い。滞納額も高額となっている。本市の私債権管理について、担当課と債権管理対策課との連携は十分に取れているのか伺う。</p> <p>② 住宅使用料の収納業務を住宅供給公社に業務委託しているが、家賃滞納者に対しどの程度まで対処出来るのか伺う。</p> <p>③ 県内他市においては、住宅供給公社に委託時点で納付指導員の増員(委託料の割り増し)により収納率向上が図られたと聞く。本市において考えはないか伺う。</p> <p>④ 雲南市の税の収納率が向上したのは、法的処置を行い納付指導を強化したことが良かったのではと思われる。住宅使用料に対しても、建設部業務管理課に法的処置を専門に行う収納専門官を置き、住宅供給公社と連携し収納率の向上を図ってはと思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 公営住宅整備について伺う。</p> <p>① 雲南市公営住宅ストック総合活用計画で、三刀屋町の基町団地、加茂</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 緊急時の漏水対応について	<p>町の中村団地は平成 25 年度～28 年度の建替え予定となっていたが、平成 28 年度からの事業で基町団地の整備が計画された。計画がここまで遅れたのはなぜなのか見解を伺う。</p> <p>②中村団地、大東町の西の宮団地と整備が進むと思うが、今後の計画はどのようになっているのか伺う。</p> <p>③基町団地については、三刀屋町時代に整備の説明があったが、その後説明が行なわれていないと聞く。整備について地元説明はどの段階で行なわれるのか見解を伺う。</p> <p>④基町団地の整備については、出雲養護学校雲南分教室との関連がある。地元には丁寧な計画の説明が必要と思うが見解を伺う。</p> <p>⑤整備計画があるため、現在入居している住宅に破損等不測の事態が発生しても修理してもらえないと聞くが見解を伺う。</p> <p>⑥現時点で、3 団地とも新規の入居が出来なくなっている。入居戸数も全戸数の半分程度まで減り、空き物件が増えて居住環境が悪くなっているが対応がなされているのか伺う。</p> <p>⑦整備計画が最終に位置づけられている西の宮団地では、高齢者の比率が 90%以上で自治会活動も出来ない状態となっている。建替え完了までには長期間となるが、市として手立てを講ずる考えはあるのか見解を伺う。</p> <p>⑧公営住宅整備計画が長期にわたることで、各団地で思いもよらぬ弊害が発生しているが市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 今回の異常低温による凍結漏水被害は、2 次側の宅内配管での被害が大部分だった。以前、漏水時の迅速な修理を行なうためにも宅内配管の配</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>管図を整備してはと提案したが、整備されたのか伺う。</p> <p>(2)メーターボックスの位置を示す図面を作成すべきと思うが見解を伺う。</p> <p>(3)漏水の超過分水道料金の減免処置について、今回の凍結被害分については通常の減免処置ではなく、凍結漏水対策としての緩和処置が考えられないか見解を伺う。</p>	
7	14	山 崎 正 幸 (一問一答)	<p>1. 雇用の創出について</p> <p>2. 農商工連携の推進について</p>	<p>(1)雲南市産業振興センターに企業誘致専門員を配置し、藤が丘企業団地（1h a）及び神原企業団地（4h a）等への企業立地に向け施策展開に努めている。現時点における取り組み状況について伺う。</p> <p>(2)平成28年度も継続して取り組みを展開する考えであるが、企業ニーズ及び誘致に向けた課題について伺う。</p> <p>(3)市内の既存企業の更なる発展に向け、企業訪問を行い課題等を抽出し支援すべきと思うが考えを伺う。</p> <p>(1)雲南市農商工連携協議会でスイーツ、スパイスをはじめ5つのプロジェクトを立ち上げ事業推進に努められているが、最近の動きが停滞していると感じるがその原因と将来展望について考えを伺う。</p> <p>(2)販路開拓・新事業発掘に向け、地域資源を活用した新商品開発を促進し、専門人材を配置して雲南市産品を大都市圏への販路拡大に取り組む方針である。地域資源についての考え及び雲南市産品とは何を指すのか。また、大都市圏はどこを指すのか伺う。</p> <p>(3)6次産業化に向け、9月を目途に「食の幸発信施設規模及び運営体制等」について協議・検討が行われている。施設ありきで生産者などへの取り組みが見えないと感じるが伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 農業振興について	(1)平成 28 年度、新たに「ブランド米推進作付支援事業」において雲南市のブランド米「プレミアムつや姫」の取り組みを展開し、生産団体等に 1 袋あたり市は 2,000 円、JA は 500 円を助成する考えであるが、今後の施策推進についての考えを伺う。 (2)米価の下落及び主食用米の需要減少、また、農業従事者の高齢化等により農業を取り巻く環境は非常に厳しいと考える。今後の農業は迅速かつ大胆な改革により、農業実践を行うことが必要であり、また、求められている。稲作以外の農産物の取り組みの考えを伺う。	
			4. 畜産振興について	(1)島根和牛は全国共進会での成績低迷もあり、市場価格が全国で下位に定着している。それが原因で生産意欲の低下、飼料価格の高騰等も相まって廃業等が進行している。その対策及び支援策について伺う。	
			5. 閉園・閉校跡地について	(1)跡地の維持管理費の統一した基準があるのか伺う。 (2)閉園・閉校後、地域で活用方法を真剣に模索しているが、活用方法が決まらないのが現状である。活用に向け市の支援策等について伺う。 (3)3 年間は教育財産で、その後は普通財産であると認識している。どうしても活用が図れない場合の市の考えについて伺う。	
			6. 若者チャレンジについて	(1)若者チャレンジの目指すものと、地域の若者の関わりについての考えを伺う。	
8	2	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 選挙に関して	(1)住民登録に伴う選挙権の空白解消について 平成 27 年 6 月、公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し公布され、平成 28 年 6 月 19 日に施行され、選挙権が 18 歳まで引き下げられる。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 原付ご当地ナンバーとご当地オリジナル婚姻届について	<p>新有権者の中には、進学や就職に伴い住民票の異動を行うこともある。現行法では住民票異動のタイミングにより選挙権の空白が生じていた。これを解消するための改正法も18歳選挙権と同時に施行される。</p> <p>①全国で約240万人の18歳から20歳までの新有権者が誕生する。現行法では約7万人の投票権が奪われると言われている。本市では今夏の参議院選挙を対象とした新有権者は約589人との見込みだが、現行法上ではどのくらいの投票権の空白が発生するのか伺う。</p> <p>②想定される今夏の参議院選挙の日程を現行法上で考えると、3月下旬が転居時期に大きく影響する。この改正法をどのように周知するのか伺う。</p> <p>(2)投票所と期日前投票について 投票所の数は約3分に1にまで縮小されている。自治体によっては、18歳選挙権を踏まえて利便性のよい場所に投票所を新設する考えもある。</p> <p>①本市において投票所の新設の考えはあるか見解を伺う。</p> <p>②投票所が削減され、投票率も下降傾向を示している。一方、期日前投票に関しては増加している。期日前投票の宣誓書を投票入場券に印刷することで、さらに利便性を向上させ、投票率向上に有効と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)最近市税に関わる原動機付自転車のナンバーを自治体オリジナルのご当地ナンバーとして発行している。本市においてもご当地ナンバーを取り入れてはどうか見解を伺う。</p> <p>(2)出雲市では民間とのコラボにより「まちキュンご当地婚姻届」の受付をしている。ご当地婚姻届は近年ひそかなブームとなっているが、本市</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 障害者差別解消法に関して	<p>においても取り組んではどうか。見解を伺う。</p> <p>(1) 障害者差別解消法が本年4月1日に施行されるが、対応要領の策定状況を伺う。</p> <p>(2) 条例化の考えはあるのか今後の予定を伺う。</p> <p>(3) 行政機関等及び事業者に対し、社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備が求められている。</p> <p>①社会的障壁とはどのような事か伺う。</p> <p>②合理的配慮とはどのような事か伺う。</p> <p>(4) 保育園や幼稚園、こども園、小中学校、交流センター及び総合センターに対する社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備をどのように行うか。また、新庁舎においてはどのようになされているのか伺う。</p> <p>(5) 障害者差別解消法において、民間事業者は雇用分野に関しては義務とされている。これにより市内民間事業所における障がい者雇用のキャパを拡大できるのではないかと期待するが見解を伺う。</p> <p>(6) 法定雇用率を達成した事業所を表彰する制度を考えてはどうか。</p> <p>(7) 本市の障がい者に対する職員募集に「精神障がい」の種別は無いと認識している。障害者差別解消法に照らすと、どのような解釈になるのか見解を伺う。</p>	
9	13	細 田 実 ( 一 括 )	1. 水道事業について	<p>(1) 1月の寒波による凍結や断水被害の状況と教訓について市長はどのように考えるか伺う。</p> <p>(2) 市長は水道料金改定を審議会に諮問された。簡易水道事業を水道事業に統合する影響が大きいと、諮問の内容と値上げによる市民生活への影響</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 地方創生について</p> <p>3. 公契約と労働者について</p> <p>4. 原子力発電所の 防災対策について</p>	<p>について市長の考えを伺う。</p> <p>(1)過去に「ふるさと創生」地域活性化、自治体合併で地方の再生を図ろうとしたが、今日「消滅自治体」が問題となっている。市長は今回の「地方創生」をどういう意味ととらえているか。</p> <p>(2)地方分権こそ「地方創生」で重要と考えるが市長はどのように考えるか。</p> <p>(1)市庁舎建設で労務単価改定による契約変更が行われた。元請け、下請け労働者をはじめ改定賃金は支払われたのか。検証されたのか。</p> <p>(2)保育園民営化が進められている。一方保育労働者の賃金をはじめ厳しい労働条件が問題となっている。保育にも影響が出る。子育て日本一を目指す市長は業務委託による保育士の労働条件の適正化をどう図っているか。</p> <p>(3)公契約条例の必要性が高まっていると思う。持続可能な社会、プラチナ社会を目指す市長は率先して制定すべきではないか。</p> <p>(1)自治体の首長が「国が責任を持つと言った」と自治体には責任がないかのごとく再稼動に同意している。住民の安全・安心に責任を持つのは住民ともっとも近い市町村だ。国が国が・・・と無責任な態度を取るべきでないと思うが市長はどう考えているか。</p> <p>(2)避難計画の実効性をどう高めていくのか。広島を受け入れ計画はほとんどできていないのではないのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>5. 障害者差別解消法施行について</p> <p>6. 子育て政策について</p> <p>7. 図書館について</p>	<p>(1)4月から障害者差別解消法が施行される。「合理的配慮」が行政の義務となる。市長の施行に当たっての見解を伺う。そして施行への準備状況と差別解消にむけて具体例(ガイドライン、具体的改善点など)を伺う。</p> <p>(1)子どもの貧困率が高いことは以前質した。中でも一人親家庭の貧困率は高い。その生活実態に付いて市としては把握しているのか。</p> <p>(2)一人親家庭に対するワンストップ窓口設置を松江市長は表明している。雲南市も必要ではないか。たとえば離婚後の親子関係アドバイス。子ども養育支援アドバイス、支援。</p> <p>(3)離婚でない一人親家庭に対する「寡婦控除」を求める運動が広がっている。雲南市の見解を伺う。</p> <p>(1)図書館の持つ役割は重要だ。大東図書館の充実(建設)の要望がある。広大な雲南市の中で市民が図書館を意識していないこともある。図書館のあり方について雲南市の考えを伺う。</p>	
10	9	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 「人口の社会増」に向けた施策について	<p>定住環境整備と人材の育成・確保に集中的に取り組むとしているが</p> <p>(1)「出生増」に向けた施策も打ち出すべきだ。</p> <p>(2)市の窓口を通さない移住者への対応はなされているか。</p> <p>(3)住宅政策の強化</p> <p>①ベルポート木次のような若者単身向け住宅を中心部につくるべきだ。</p> <p>②市外から市内で働いている人への移住支援策を考えるべきだ。</p> <p>③連担地にはミニ団地を、農村部には自然を生かした宅地の提供にもっと力をいれるべきだ。</p> <p>(4)学校をつくることも誘致もできないが、せめて学生や若者が集い活動</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 所信表明や部局運営方針では見えない、足りない政策について</p> <p>3. 地縁組織の政治との関わりについて</p>	<p>し、また、生涯学習や文化振興にも資する「雲南コミュニティキャンパス」の拠点が必要ではないか。</p> <p>(1) 市勢のバロメーターは人口だけでなく「経済」もある。商工業にとって今年は極めて重要な年だ。(中心市街地活性化事業、中小企業振興基本条例に基づく具体的施策、産業振興センターの強化、木次駅前商業棟リニューアルオープンなど)が、地域経済をまわして底上げを図る施策、仕組み、仕掛けが弱いのではないか。</p> <p>(具体的提案)</p> <p>①小規模修繕の拡充と限度額を30万円から50万円への引き上げ</p> <p>②蓄電池への補助</p> <p>③5つのプロジェクトのてこ入れ</p> <p>(2) 周辺部、農村部のまちづくりを明確に示すべきだ。</p> <p>(3) 市の教育にとって最も大切なのは「知・徳・体」の底上げ、向上ではないか。</p> <p>(4) JR木次線についての対応が部局運営方針に掲げられていない。100周年の節目の年であり、利用促進策とトロッコ列車対策に力を入れるべきだ。</p> <p>(1) 地縁組織(自治会、地域自主組織)の選挙における推薦等の政治との関わりについての見解を伺う。</p>	